

日本語指導教室学習指導案

小中台小学校 日本語指導教室
「さくら学級」 関谷 春水

1 題材名 促音の入った言葉

2 日本語教室および題材について

本校の日本語教室設置は、日本語や日本の生活習慣に不慣れな児童の日本語指導および学習指導と生徒指導を包括的に行うことをねらいとしている。日本語を国語科として教えるのではなく、教員の指示の理解や友だち同士の会話、正しい受け答えの定着などを中心として指導を行っている。

国外から日本に来た児童は自らの意志で入国したわけではない。保護者の留学などの移動に伴って、異文化の中で生活することを余儀なくされた。児童の精神的なストレスは相当なものと思われる。そのような児童たちが学校生活の中で一日も早く担任や同級生との意思疎通がスムーズにできるよう支援を行っている。まずは、自分の思いを相手に伝える能力が身につけられることが、日本における適応の成否に関わってくると思われる。

以上の観点から、現在日本語教室では、児童の日本語運用能力をA「日常会話は不自由しないが学習中使用する日本語については不安が残る」（2名）、B「担任の指示の理解に不安がある」（2名）、C「担任の指示が十分に理解できない」（1名）に分けて指導を行っている。これらの児童に対して、それぞれの実態に応じて1～5時間の取り出し指導を基本とした指導を行っている。

使用している教材は、児童の在籍する学年の教科書や「楽しい日本語」（千葉市教育委員会）、「日本語学級1～3」（凡人社）及び「ひろこさんの楽しい日本語1～3」を使用している。また、日本語の力がついている場合は、各学年のドリルや教科学習の補習も行っている。

本時で取り出し指導するのは、昨年8月にフィリピン共和国より来日した3年生女子児童である。上記の判断ではCの児童で来日後ずっとひらがな五十音の発音や表記の学習を行ってきた。また、所属する学級の学習進度に遅れないように配慮してきた。しかし他の日本人児童と比較すると語彙数や表現力で大きな差があることは否めない。また会話力や指示の理解力は高まったものの、学級内で見ると他の日本人児童との差は歴然としている。促音に関しても発音や表記の面で完全に理解しているとは言い難い。そこで本時では促音の理解と発音や使う場面などを含めて指導を行う。

ゲーム的な学習内容を適宜取り入れ、児童の集中力と意欲を切らさないように注意しながら授業を進めていきたい。

3 児童の実態

氏名	学年	母語	滞在年数	指示理解力	保護者日本語会話
M・C	3年	フィリピン	0年	C	父日本人・母日常会話可能
W・T	3年	中国	3年	B	少し
X・Z	3年	中国（内蒙古）	3年	B	少し・母留学生
I・S	4年	ロシア	5年	A	少し
M・H	4年	マレーシア	4年	A	少し

本時の取り出し児童は、M・C

4 本時の指導

(1) 目標

- ・ 促音を含んだ単語を覚え、正しく発音したり書いたりできる。

(2) 展開

学習活動	日本語の表現と表記	指導内容	評価の観点
1 あいさつを行う。 ・時間や場面に合った挨拶をする。 ・はっきりとした声で挨拶をする。 2 本時の学習内を確認する。 3 しりとりことばを行う。 ・主に名詞(物の名前など)をつなげて書き込む。	○おはようございます。 ○よろしくお願ひします。 ○「とけい」「いぬ」のようにつなげていくやり方を理解する。 ○思い付いた言葉の他に、既習の濁音が含まれた言葉も正しく発音し、表記できる。	・入室時や授業開始時の挨拶の違いに気付かせる。 ・具体例で説明する。 ・しりとりカードを例示して言葉を入れさせる。 ・つまずいた場合は言葉をそえる。	◇自分の判断で正しい挨拶ができたか。 ◇しりとりルールを理解して意欲的に学習しているか。
ちいさい「っ」の入ったじを、おぼえよう。			
4 促音を含んだ言葉を学習する。 ・手をたたきながら発声練習を行う。 ・小さい「っ」も手拍子一つ分であることを確認しながら発声する。 5 穴埋め問題を出し合う。 ・最初は促音の入った言葉にこだわらずに取り組む。 ・慣れてきたら促音の入った言葉を思い浮かべて問題を作る。	○「がっこう」「べつと」などを例として覚える。 ○小さい「っ」の含まれた言葉を正しく発音できる。 ○例題「か□る」など3文字の言葉を当てられる。 ○促音や拗音の入った言葉を正しく発音し、表記することができる。	・「つ」と「っ」の違いを、筆記することでもつかませるようにする。 ・学習した促音の入った穴埋め問題を出し合って、確認させる。 ・拗音「ゃ」「ゅ」「ょ」が出た場合は、否定せずに取り上げるようにする。	◇促音の含まれた言葉を正しく発音することができたか。 ◇促音の含まれた言葉を正しく表記できたか。 ◇穴埋め問題のルールを理解して意欲的に学習に参加しているか。
ちいさい「っ」も手びょうし一つぶんのことばだね。			
6 終わりの挨拶を行う。 ・時間や場面に合った挨拶ができる。	○「ありがとうございました。」 「さようなら」		◇自分の判断で正しい挨拶ができたか。

